

平成27年度 大洲から「体験の風をおこそう」推進事業

「交流の家通学合宿～なかまと1週間チャレンジ～」

1 ねらい

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動を通して、子どもたちの自主性や協調性、耐性等の「生きる力」の基盤となる豊かな人間性やコミュニケーション能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

2 実施日 平成28年2月14日（日）～20日（土） 【6泊7日】

3 日程

【2月14日（日）：1日目】

10:30	12:00	13:00	15:00	18:00	20:30	21:30	
受付	入所式 I K R・本部 アンケート記入	OR① (生活)	昼食 OR② (班別協議)	調理実習① カレー作り	生活・学習・仲間タイム (学習・班活動・入浴)	ふりかえり 就寝準備	就寝

【2月15日（月）～19日（金）：2～6日目】

6:00	6:50	7:30	17:00	18:00	20:30	21:30	
起床	清掃 整理 登校準備 健康観察	つどい 朝食	バス送迎 学校 バス送迎	つどい 夕食	生活・学習・仲間タイム (学習・班活動・入浴) 交流の家プログラム	ふりかえり 就寝準備	就寝

※ 2日目、4日目、6日目には洗濯タイム

【2月20日（土）：7日目】

6:30	7:00	8:00	9:30	12:00	13:00	13:30	
起床	清掃・整理 健康観察	つどい 朝食	清掃 荷物整理 退所点検	スポーツ クライミング	昼食	I K R・本部 アンケート記入	退所式 解散

※ 保護者対象事前説明会 2月9日（火）19:00 開催

4 活動場所 国立大洲青少年交流の家

5 参加人数 大洲市立大洲小学校 15名（5年生 8名 6年生 8名）  
大洲市立久米小学校 9名（5年生10名 6年生 0名）  
計24名（募集人数24名）

## 6 活動内容

### 〈入所式・オリエンテーション〉

オリエンテーションでは、担当職員がこの事業を行うにあたってのねらいや注意点などを説明した。その後、子供たちは1週間を過ごす上での「めあて」や「みんなで守る5つの約束」を決めたり旗作りをしたりする中で、声を掛け合い、お互いに打ち解けていった。



### 〈生活体験プログラム〉

食事作り体験として、1日目にカレー作りを行った。6年生を中心に手際よく調理し、お互いが協力することにより、班の中での子供同士の交流が少しずつ深まっていった。



毎朝6時に起床し、登校準備、朝のつどい、朝食などの活動を行い、バスで登校した。初めは慣れていないこともあり、集合や準備に時間がかかる児童もいたが、少しずつ見通しをもって5分前行動ができるようになり、お互いが声を掛け合いながら寝具整理や準備を助け合う姿も見られるようになった。



下校後は、夕べのつどい、夕食、学習、洗濯などの活動を行った。

学習時間には、宿題や自主学習、読書等、約1時間熱心に取り組んだ。スタッフや運営補助として参加した法人ボランティアの学生が指導に当たり、児童は学習内容を深く理解することができた。



洗濯は合宿中に3回行った。洗濯が初めての児童は、慣れない手つきで洗濯物を洗濯ネットに入れたり、洗濯機を操作し脱水後は洗濯物を干したり、たたんだりもした。最初はうまくできなかったが、3回目には自分たちだけでスムーズにできるようになった。

### 〈大洲青少年交流の家プログラム〉

通学合宿がさらに充実した体験活動になるよう、交流の家ならではのプログラムを取り入れた。

3日目の紙すき体験では、バージンパルプを使ったハガキ作りに挑戦した。最初は、紙を均等になるよう上手にすくことができなかったものの、班の友達同士でコツを教え合い、協力して活動する姿が見られた。翌日には、自作のはがきを用いてお家の人へ心のこもった手紙を書いた。



5日目の天体観測では、よく晴れた夜空のもと、望遠鏡を使い月やオリオン座、冬の天三角などを観測し、講師の方に星に関する質問をするなど、星に対する興味・関心が高まった。



6日目には、カプラブロックを使った活動を行った。個人やグループで真剣にブロックを積み上げ、充実感を味わうことができた。

最終日の午前中には、スポーツクライミングに挑戦した。みんな意欲的にクライミングに挑戦し、達成感を共有する姿が見られた。



### 〈退所式〉

退所式では、1週間をふりかえり、「できるようになったこと」「これから続けていきたいこと」などを中心にまとめた。感想の中には、今後の家庭、学校生活で生かしていこうという前向きなものが多くあった。最後に、修了証が授与され、1週間の通学合宿の全日程を無事終了した。